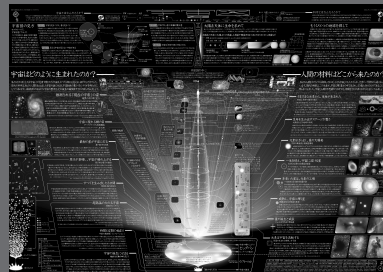


2007年、2013年と進化を遂げてきた宇宙図をさらに改訂することになりました。
皆さんと一緒に新しい宇宙図を考えてみませんか？

高梨直紘（東京大学）／平松正頭（国立天文台チリ観測所）

宇宙図を改訂することにしました。2007年に天プラも中核メンバーとして作成に関わった一家に1枚宇宙図ですが、おかげさまで好評を博し（ていると信じていますが）、その後、マイナーな変更も含め何回か改訂作業をする機会に恵まれました。日進月歩で進む天文学の最新の成果を反映させるのが主な目的ですが、2013年に行った改訂では、中央に配置されているすり鉢型（宇宙の膨張の様子）の外を描くという変更を加えました。これは、実証主義的な科学が対象とする「観測可能な宇宙」だけでなく、科学的思考が対象とできる宇宙までもを宇宙図に取り込もうという、制作サイドの考え方の成長を反映した改訂でした。実はいろいろ考えて作っているんです、宇宙図。もし昔のバージョンと最近のバージョンの宇宙図をお持ちの方がいれば、じっくり見比べてみて下さい。

今回の改訂では、前回の改訂（2013年）から現在までの間に話題となったことを中心に、宇宙図をアップデートします。最新の宇宙論パラメータ、ニュートリノ振動、重力波の発見、系外惑星探査の進捗などの天文学の話題はもちろん、新元素の合成成功や、生物進化の新理解など、宇宙図に散りばめられている諸科学の話題もきっちり取り込みたいと考えています。さらに、宇宙図を成立させている前提である科学的思考とはそもそもなんであるのか、そういったメタ的な視点についても意識させるような工夫をしたいな、ということも検討中です。宇宙図は天文学分野全体を俯瞰する役割に加えて、諸科学への入り口となる役割はもちろんのこと、哲学や思想など人文科学への入り口となる役割も担える図であるという考え方に基づくものです。風呂敷は大きいんです、どう畳めるかはこれからですが。



宇宙図2013。どこをどう直そうかなって。

宇宙図をより魅力的な図にしていくためには、制作委員会のメンバーの視点だけでは不十分です。さまざまな視点からのチェックがとっても大事です。特に宇宙図を愛して下さっている皆さんのコメントは、たいへんありがたいです。年内に何度か宇宙図をじっくり読み直して改訂すべき箇所を探る会を実施したいと考えていますので、興味がある方はぜひ天プラのサイトをチェックしてみてください。ご協力、よろしくお願いします！

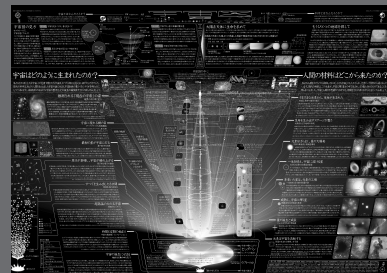
▽ 宇宙図2013ウェブサイト
<https://www.nao.ac.jp/study/uchuzu2013/>

2007年、2013年と進化を遂げてきた宇宙図をさらに改訂することになりました。
皆さんも一緒に新しい宇宙図を考えてみませんか？

高梨直紘（東京大学）／平松正顕（国立天文台チリ観測所）

宇宙図を改訂することにしました。2007年に天プラも中核メンバーとして作成に関わった一家に1枚宇宙図ですが、おかげさまで好評を博していると思いますが、その後、マイナーな変更も含め何回か改訂作業をする機会に恵まれました。日進月歩で進む天文学の最新の成果を反映させるのが主な目的ですが、2013年に行った改訂では、中央に配置されているすり鉢型（宇宙の膨張の様子）の外を描くという変更を加えました。これは、実証主義的な科学が対象とする「観測可能な宇宙」だけでなく、科学的思考が対象とできる宇宙までもを宇宙図に取り込もうという、制作サイドの考え方の成長を反映した改訂でした。実はいろいろ考えて作っているんです、宇宙図。もし昔のバージョンと最近のバージョンの宇宙図をお持ちの方がいれば、じっくり見比べてみて下さい。

今回の改訂では、前回の改訂（2013年）から現在までの間に話題となったことを中心に、宇宙図をアップデートします。最新の宇宙論パラメータ、ニュートリノ振動、重力波の発見、系外惑星探査の進捗などの天文学の話題はもちろん、新元素の合成成功や、生物進化の新理解など、宇宙図に散りばめられている諸科学の話題もきっちり取り込みたいと考えています。さらに、宇宙図を成立させている前提である科学的思考とはそもそもなんであるのか、そういったメタ的な視点についても意識させるような工夫をしたいな、ということも検討中です。宇宙図は天文学分野全体を俯瞰する役割に加えて、諸科学への入り口となる役割はもちろんのこと、哲学や思想など人文科学への入り口となる役割も担える図であるという考え方に基づくものです。風呂敷は大きいんです、どう畳めるかはこれからですが。



宇宙図2013。どこをどう直そうかなって。

宇宙図をより魅力的な図にしていくなめには、制作委員会のメンバーの視点だけでは不十分です。さまざまな視点からのチェックがとっても大事です。特に宇宙図を愛して下さっている皆さんのコメントは、たいへんありがたいです。年内に何度か宇宙図をじっくり読み直して改訂すべき箇所を探る会を実施したいと考えていますので、興味がある方はぜひ天プラのサイトをチェックしてみてください。ご協力、よろしくお願いします！